

ARシミュレーターで東急電鉄の運転士の目線をバーチャル体験！

「電車とバスの博物館」ARアプリを期間限定で配信開始

東急電鉄株式会社
タイムルーパー合同会社

東急電鉄株式会社(以下、東急電鉄)は、昨今の新型コロナウイルス感染症対策の取り組みの一環として、自宅で楽しい時間をお過ごしいただくことを目的に、東急電鉄が田園都市線宮崎台駅において運営する「電車とバスの博物館」(以下、本博物館)を自宅にいながら疑似体験していただけるARアプリ(以下、本アプリ)をタイムルーパー合同会社(本社:東京都港区、代表:河北 有一)と共同で制作し、2020年12月23日(水)から2021年3月31日(水)までの期間、無料配信します。

本アプリでは、AR技術を通して、目の前の空間に物体が実際にあるかのような、バーチャル体験をお楽しみいただけます。ご自宅にいながら本博物館の人気施設を体感できるだけでなく、本アプリ用に制作したCG電車が走るAR路線図など、オリジナルのコンテンツをご利用いただけます。「AR電車シミュレーター」では、リアルに再現された8090系の運転台に立ち、運転士目線で東横線のCG映像をお楽しみいただけます。また、館内施設をご案内する「電車とバスの博物館」メニューでは、「東急ヒストリーパノラマシアター」や「ジオラマ・シミュレーター」などの一部の施設について、普段は見ることが出来ない角度から撮影した、本アプリ限定の模型走行映像を交えてご紹介します。そのほか、「東急電鉄ヒストリー」では、東急電鉄の生い立ちや過去に実際に走っていた電車やバスの写真をスライドショーでご覧いただけます。

1. 「電車とバスのAR博物館」主要コンテンツ

①AR電車シミュレーター

東横線のCGシミュレーター体験です。8090系の運転台をCGで再現しました。運転士の目線をお楽しみください。
(各駅停車 自由が丘駅～新丸子駅間)



▲AR電車シミュレーター(イメージ)

②電車とバスの博物館(館内案内)

本博物館の見どころを動画と画像でご紹介しています。本アプリ用に撮影した普段は見ることができない角度からの、模型走行映像などをご覧いただけます。

③東急電鉄ヒストリー

東急電鉄と本博物館の歴史について、当時の写真をスライドショーでご案内します。



▲CG電車が走るAR路線図(イメージ)

2. アプリのダウンロード方法

本アプリは下記のURLから無料でダウンロード可能です。「電車とバスの博物館」公式サイトにおいてもダウンロード用のリンクを公開しているほか、アプリストアで、「電車とバスのAR博物館」と検索いただくと、ダウンロード画面が表示されます。なお、現在は iPhone 用アプリのみダウンロード可能となっており、Android™用アプリは準備中のため、ダウンロードができるようになりましたら、東急電鉄の Twitter 公式アカウントなどでご案内します。

■「電車とバスの博物館」公式サイト:<https://www.tokyu.co.jp/museum-2/>

■ダウンロード用URL:<https://apps.apple.com/jp/app/電車とバスのar博物館-東急電鉄/id1543914148>

※12月23日時点、iPhone 用アプリのみ対応。Android™用アプリは準備でき次第ご案内予定。

■対応機種

- ・iPhone OS:iOS12 以降 機種:iPhone6s 以降、iPad mini(第5世代)以降
- ・Android™ OS:Android™ 10.0 以降 機種:2019年以降発売のモデル



▲アプリアイコン(イメージ)

※本アプリは上記バージョンにおいて動作確認をしています。ご自身の端末のバージョンをご確認の上、ご利用ください。

※今後のアップデートに際し、対応環境や対応端末が変更になる場合があります。

※一部端末に関しては対応 OS バージョン以上でも動作しない場合があります。

■Twitter 情報

- ・東急電鉄 公式@のるんと一緒 (@Tokyu_lines) https://twitter.com/Tokyu_lines
- ・電車とバスの博物館【公式】 (@Denbus_Tokyu) https://twitter.com/Denbus_Tokyu

※ARとは、「拡張現実感(Augmented Reality)」の略で、実在する風景にバーチャルの視覚情報を重ねて表示することで、画面上の世界を仮想的に拡張する技術です。

以 上